

家族とともに長寿を祝う

三上ナヲさん100歳顕彰

特別養護老人ホーム静和園で5月15日(水)、100歳を迎えた三上ナヲさんに町から顕彰状と祝い金 hands 渡されました。親族7人と同園利用者やスタッフが同席した「100歳を祝う集い」では、誕生日ケーキ、孫の三上峰人さんから花束が贈られました。家族を代表して息子の三上重一さんから「親族で100歳を迎えたのは初めてで大変喜ばしいこと。母が長生きできたのは、みなさんのおかげです」とお礼のあいさつがありました。



孫から花束のプレゼント

三上さんは、旧稲垣村に生まれ、結婚後は旧武田村に移り住み、子5人、孫11人、ひ孫8人に恵まれました。平成22年11月から同施設に入所していますが、若い頃は、農業のほか出稼ぎ、土木作業員として働き、趣味の裁縫は90歳まで続けていたそうです。これまで町で100歳を迎えた人は、24人目になりました。



ホタルの幼虫を放流する中里小5年生

放流後、荒関壽久会長から「夏になれば、たくさんホタルを見れると思います。みなさん楽しみにしてください」とあいさつがありました。

夏が楽しみ

中里小5年生がホタルの幼虫放流

滝ノ沢ふるさと砂防愛ランドで5月15日(火)、ホタルの幼虫とエサになるカワニナの放流が行われ、ホタルの会の関係者やライオンズクラブ、県民局、津軽鉄道(株)などのほか、中里小学校5年生30人が参加しました。

この日は、ゲンジボタルの幼虫約300匹、エサのカワニナ約300匹が用意され、子どもたちは「夏に会いに来るから。元気に成長してね」と声をかけながらせせらぎ水路に放流しました。

町消防団新体制へ

町消防団辞令交付式

総合文化センターパルナスで5月1日(水)、町消防団辞令交付式が行われ、成田勝蔵団長の後任として長利司氏が新団長に就任しました。また、新団長から副団長、分団長に辞令が交付され、町消防団新体制がスタートしました。

〈町消防団新幹部〉

団長 長利 司、副団長 古川庄蔵・成澤清志・山田数仁・大川仁志、本団付分団長 神 滋・大澤勝則・川村金造・鈴木隆浩・外崎満幸、第1分団長 工藤信明、第2分団長 吉田文義、第3分団長 大川正

明、第4分団長 齋藤直樹、第5分団長 鈴木恭一、第6分団長 杉山賢二、第7分団長 新岡忠義、第8分団長 山本金美、第9分団長 山谷清光、第10分団長 今 和紀、第11分団長 館山智秀、第12分団長 長谷川智久、第13分団長 藪田俊博



駅ナカで～叫ぶ～

町ふるさとイメージアップ大使 三上寛さんがライブ

駅 ナカにぎわい空間で5月23日(木)、地域づくり団体「起きて夢見る会」が昨年に続き、「三上寛ふるさとで叫ぶ」イベントを行いました。

ビアガーデンや物産販売も同時開催され、第1部では、同級生の下川原久恭さん(唐変木)が友情出演し、三上さんとの思い出話を交えた弾き語りを披露しました。

第2部の町ふるさとイメージアップ大使三上寛さんのライブでは、五所川原での高校時代や東京での思い出を紹介しながら、ギターに乗せた語り、パワフルな歌声と魂のこもった叫びで会場を魅了しました。



パレードに沿道から歓声

中里小なにもささパレード

中 里小学校恒例の全校児童による「なにもささパレード」が運動会前日の5月25日(土)に行われました。

同小学校PTAが主催するこのパレードは、郷土芸能、文化に触れて地域を盛り上げようと毎年開催されています。わんぱく広場から6年生を先頭に、はっぴ姿の児童195人が、津軽中里駅までの約1kmをかけ声を合わせながら、踊り歩きました。沿道には父母をはじめ地域の人たちが集まり、カメラやビデオカメラを構えながら声援を送っていました。



今年も好成績を収める

「中里誠心塾」大健闘

中 里誠心塾所属の選手が日頃の練習成果を発揮し、今年も活躍を見せました。このうち2年連続全国大会出場の葛西大悟(武田小5年)君は、「今大会は楽な試合がなく苦しかった。全国大会では絶対に勝ちたい」、野上莉来奈(薄市小5年)さんは「去年はケガで試合にでれなくて悔しかった。次の大会では、優勝し全国大会に行きたい」、佐井川陽舜(武田小5年)君は「勝ったことがない選手を倒して優勝したからうれしかった」と大会の感想などを話してくれました。



■第33回津軽地区少年柔道錬成大会(2月11日)

○小4男子準優勝…佐井川陽舜(武田小)、3位…加藤主税(中里小)、○小4女子優勝…野上莉来奈(薄市小)

■第28回青森県知事賞争奪青森県少年学年別柔道・型競技選手権大会(4月14日)

○小5女子優勝…野上莉来奈(薄市小)、○小5男子優勝…葛西大悟(武田小)

■第29回青森県柔道少年団柔道大会(4月14日) ●団体戦○小1・2年準優勝、先鋒・野上源道(薄市小1年)、次鋒・片山謙心(武田小1年)、中堅・葛西卓人(武田小2年)、副将・田中永喜(武田小2年)、大将・田中愁人(中里小2年)

●個人戦○幼児の部3位…田中絢登(富野保育所)、佐井川友也(富野保育所)、○小2男子-30kg準優勝…田中永喜(武田小)、3位…葛西卓人(武田小)、○小2男子+30kg3位…田中愁人(中里小)、○小3男子+35kg準優勝…加賀田大翔(武田小)、○小4男子-40kg3位…奈良竜登(薄市小)、○小5男子-45kg3位…片山雄心(武田小)、○小5男子+45kg優勝…佐井川陽舜(武田小)、○小5女子-45kg優勝…野上莉来奈(薄市小)、○小6女子3位…今楓香(薄市小)

全国大会で活躍誓う

卓球中里クラブ

卓球中里クラブのみなさんが5月27日(月)、役場を訪れ、全国大会の出場を報告しました。全日本クラブ卓球選手権県予選団体男子小中の部を5戦5勝で突破した同クラブメンバー(鈴木大生、長谷川翔吾、横濱完成、村上莉羽、鶴谷翔)が、9月に福島県で行われる全国大会へ出場します。村上くんは「ベスト8を目指して力を合わせてがんばりたい」と意気込んでいました。同クラブ近村監督は、「2年ぶりの出場になるのどにかく全力を出しきってもらいたい」と話していました。また、7月に神戸市で行われる全日本卓球選手権大会バンビ女子シングルス(小2以下)には、同クラブの工藤翔佳さんが上位入賞を目指して出場します。



雨の中各種目で競い合う

西北五春季陸上競技選手権大会

第5回西北五春季陸上競技選手権大会が5月5日(日)、運動公園陸上競技場で行われました。この日は、時より雨が降る肌寒いコンディションでしたが、西北五つがる地域から集まった約587人の小・中学校の選手たちが、日頃の練習の成果を出し合っていました。

■中学校 男子4×100mリレー…中里中(岡駿岳・佐々木大空・大屋義浩・宮越晃一)／男子走り高跳び…佐々木大空(中里中3年)／男子砲丸投…3位 鈴木悠太(小泊中2年)

全国大会を目指して

日清食品カップ西北五ブロック代表予選会

日清食品カップ西北五ブロック代表予選会が5月18日(日)、町運動公園で行われ、全国大会を目指して競い合いました。快晴に恵まれた予選会には、西北五地区の小学生約486人が参加。練習の成果を発揮し全国大会を目指す選手たちに、父母たちの大きな声援が響いていました。この大会で町から19人の選手が予選通過し、6月23日(日)に青森市で行われる県大会へ進みました。

■男子 未就学児50m 1位 佐藤洸史郎(薄市保育所)／2年100m 2位 外崎隼矢(中里クラブ)、3位 成田来河(中里クラブ)／3年100m 1位 小野倅太朗(中里クラブ)、2位 松谷温翔(中里クラブ)／4年100m 3位 北島優汰(中里ジュニアクラブ)／友好100m 1位 佐藤風雅(中里ジュニアクラブ)／共通走高跳 3位 長尾蒼太(中里ジュニアクラブ)／共通走幅跳 3位 葛西貴史(中里ジュニアクラブ) ■女子 未就学児50m 1位 加藤心春(中里保育所)、2位 中畑萌乃(中里保育所)／2年100m 1位 佐藤姫来(中里クラブ)／3年100m 1位 太田那琉(小泊クラブ)／友好100m 3位 鈴木陽翔(中里ジュニアクラブ)



グラウンドに笑い声響く

小泊ナイター野球大会開幕

小泊ふれあい運動場で5月24日(金)、小泊ナイター野球大会が開幕。全3チーム(イカーズ・メッツ・無限会)でリーグ戦を争っている同大会は、今年で20回目を迎え若手選手の加入もありました。開幕試合のメッツ対無限会の一戦では、スローボールで攻める柏崎投手と速球が武器の小林選手の投げ合いで始まり、味方にヤジをいれるなど満月が輝くグラウンドには始終笑い声が響いていました。試合は12対10でメッツがサヨナラ勝ちを収めました。



新会員を迎えてスタート

小泊青少年少女発明クラブ開講式

小泊青少年少女発明クラブの開講式が4月27日(土)、日本海漁火センターで行われ、沼田会長から「ものづくりを楽しんでほしい。将来このメンバーの中から発明家が誕生してほしい」と18名のクラブ員に対してあいさつがありました。

1回目の講座は、同クラブ専任講師の相澤英知先生(中里小)が担当し、「楽しい工作」をテーマに保冷剤や香料などを使った「芳香剤づくり」を体験しました。参加したクラブ員は、こんなに簡単にできると思わなかった。

家族に教えて違う香りの芳香剤をつくりたい」と話していました。完成した作品は、自分の部屋や玄関などに置くそうです。



一年間楽しんで学習

北光寿大学開講式

北光寿大学(学長・柳澤良知)の開講式が4月24日(水)、日本海漁火センターで行われ、全120人中約70人が出席しました。

小泊地域の高齢者に充実した日々を送ってもらおうと、都唄や寺院巡りなどのほか、バス遠足や運動会など全10回の講座を予定。第1回目は教育長の講話があり、「わのひとり言」というテーマで、学校や社会教育で抱えている問題などをとりあげ、昔を振り返りながら、これからの対策を話しました。

気持ちよく使ってもらいたい

入舟町内会が障子の張替え

入舟町内会が5月2日(木)、同町内にある基幹集落センターの障子を張替えるボランティア活動を行いました。破れたり、シミが付いていた障子が張替えられ、まっ白に生まれ変わりました。参加者は「利用者に気持ちよく使って欲しい」と話していました。

この施設は、県内外から漁船等が入港したとき、乗組員が洗濯や疲れを取っていただくためなどに利用されています。



万引き防止よびかけ

春の安全・安心まちづくりキャンペーン

春の安全・安心まちづくり旬間中の4月24日(水)、中里ショッピングタウンベル店で、五所川原警察署主催による春の安全・安心まちづくりキャンペーンが行われました。

少年警察ボランティア、防犯指導隊、防犯夫人隊、更生保護女性会が参加し、万引き防止、振り込め詐欺防止チラシ、防犯グッズを配布するなど来店客に注意を呼びかけました。